

Ishikawa, K., Kobayashi, A., & Okubo, M. (2015).
Gender Differences for Emotional Expressions in Social Anxiety.
56th Annual Meeting of the Psychonomic Society,
Chicago, Illinois, USA.

石川 健太

社交不安が高い人にとって、純粋なネガティブな感情を表出することは、他者からのネガティブな評価を予測させるものになる (Kashdan & Breen, 2008; Kashdan & Steger, 2006; Kashdan, Volkmann, Breen, & Han, 2007; Spokas, Luterek, & Heimberg, 2009)。そのため、社交不安が高い人は偽りの感情を表出することで純粋なネガティブな感情を隠し、他者からのネガティブな評価を避けるかもしれない。さらに偽りの表情表出を使い、純粋なネガティブ感情を隠すことは、社交不安が高い女性よりも男性にとって重要であると考えられる。ジェンダー・スキーマモデル (Bem, 1981) では、男性は活動的、競争的などの性役割が期待される一方で、女性は控えめ、抑制的などの性役割が期待される。このモデルを裏づけるように、男性にとって控えめであることは性役割と一致せず、女性よりも他者からのネガティブな評価を受ける原因となることが示唆された (Bacon & Ashmore, 1985; Burch & Cheek, 1995)。社交不安が高い男性にとって、社会的状況で感情表出を抑制するだけでは、控えめであるなど、ネガティブな評価を受けることにつながる可能性が高い。社交不安が高い男性がこうしたネガティブな評価を避けるためには、偽りの感情表出を使うことで純粋なネガティブな感情を隠し、自分自身を活動性が高く、社会的に見せる必要があると考える。

この仮説を検証するために、本研究では45名 (男性21名, 女性24名) のモデルから表情刺激を作成した。モデルの表情は怒り顔, 笑い顔, 中立顔の3種類があった。モデルを社交不安高群, 低群に分けるために、笹川・金井・村中・鈴木・嶋田・坂野 (2004) の短縮版他者からの否定的評価に対する社会的不安測定尺度を用いた。

表情評定課題ではモデル45名 (社交不安高群22名, 社交不安低群23名) ×3表情 (怒り顔, 笑い顔, 中立顔), 合計で135枚の顔写真を使用した。これらの顔写真に対して, 79名 (男性63名, 女性16名) の評定者が, モデルの表情表出の強さと社交性を7件法 (全く思わない: 1点~強く思う: 7点) で評定した。実験計画はモデルの社交不安 (高群, 低群), モデルの性別 (男性,

女性), モデルの表情 (怒り, 笑い, 中立顔) の被験者間2要因, 被験者内1要因の分散分析であった。

顔写真のモデルごとに, 感情強度と社交性の評定値の平均値を算出し, 被験者間2要因 (社交不安: 高群・低群, 性別: 男性・女性), 被験者内1要因 (モデルの表情: 怒り・笑い・中立顔) の分散分析を行った。分析の結果, 感情強度の評定値において, 社交不安と性別の交互作用が有意であり ($F(1, 41) = 5.19, p = .028, \eta^2_p = .11$), 男性では社交不安低群よりも社交不安高群の方が, 感情強度が高く評定された ($t(19) = 2.23, p = .03, d = .83$)。男性と異なり, 女性では, 感情強度の評定値に統計的な有意差はなかった ($t(22) = 1.06, p = .30, d = .35$)。なお, 社交不安, 性別と表情の交互作用は有意ではなかった ($F(1, 82) = 1.28, p = .28, \eta^2_p = .03$)。さらに, 社交性の評定値においても, 社交不安と性別の交互作用が有意であり ($F(1, 41) = 5.83, p = .02, \eta^2_p = .12$), 男性では社交不安低群よりも社交不安高群の方が社交性が高く評定された ($t(19) = 2.22, p = .03, d = .72$)。一方, 女性では社交不安高群と低群で有意差はなかった ($t(22) = 1.09, p = .28, d = .36$)。なお, 社交不安, 性別と表情の交互作用は有意ではなかった ($F(1, 82) = 2.41, p = .09, \eta^2_p = .05$)。

本研究は社交不安が偽りの感情表出に与える効果を検討した。その結果, 社交不安が高い男性は低い男性よりも, 感情強度や社交性が高く評価された。一方, 女性においては, 社交不安の高低で, 表情表出や社交性の評価にちがいはなかった。この結果は我々の仮説を支持するものであり, 社交不安が高い男性は, 社会的な状況において偽りの感情を強く表出し, 社会性を高く見せた。男性にとって控えめであることは, 他者からのネガティブな評価へとつながる (Burch & Cheek, 1995)。社交不安が高い男性は, 偽りの感情表出を行い, 男性の性役割に一致した印象を他者に伝えることで, ネガティブな評価を避けることが考えられる (Kashdan & Breen, 2008; Kashdan & Steger, 2006; Spokas et al., 2009)。一方, 社交不安が高い女性は低い女性と偽りの表情表出に差がなかった。この結果は, ジェンダースキーマモデル (Bem, 1981) と一致するものである。女性の控えめな行動は必ずしもネガティブな評価に結び付かない (Burch & Cheek, 1995)。したがって, 男性と異なり, 社交不安が高い女性は偽りの感情表出を強く行う必要がないと考える。本研究の結果は, 社交不安が高い男女では, 社会的な状況に異なる適応方略をもつことを示唆する。こうした適応方略の違いは, 社交不安障害の治療介入においても考慮する必要があるかもしれない。

引用文献

- Bacon, M. K. & Ashmore, R. D. (1985). How mothers and fathers categorize descriptions of social behavior attributed to daughters and sons. *Social Cognition, 3*(2), 193-217.
- Bem, S. L. (1981). Gender schema theory: A cognitive account of sex typing. *Psychological review, 88*(4), 354.
- Bruch, M. A. & Cheek, J. M. (1995). Developmental factors in childhood and adolescent shyness. *Social Phobia: Diagnosis, Assessment, and Treatment*, 163-182.
- Kashdan, T. B. & Breen, W. E. (2008). Social anxiety and positive emotions: A prospective examination of a self-regulatory model with tendencies to suppress or express emotions as a moderating variable. *Behavior Therapy, 39*(1), 1-12.
- Kashdan, T. B. & Steger, M. F. (2006). Expanding the topography of social anxiety an experience-sampling assessment of positive emotions, positive events, and emotion suppression. *Psychological Science, 17*(2), 120-128.
- Kashdan, T. B., Volkmann, J. R., Breen, W. E., & Han, S. (2007). Social anxiety and romantic relationships: The costs and benefits of negative emotion expression are context-dependent. *Journal of Anxiety Disorders, 21*(4), 475-492.
- 笹川智子・金井嘉宏・村中泰子・鈴木伸一・嶋田洋徳・坂野雄二 (2004). 他者からの否定的評価に対する社会的不安測定尺度(FNE)短縮版作成の試み：項目反応理論による検討(原著) 行動療法研究, *30*(2), 87-98.
- Spokas, M., Luterek, J. A., & Heimberg, R. G. (2009). Social anxiety and emotional suppression: The mediating role of beliefs. *Journal of Behavior Therapy and Experimental Psychiatry, 40*(2), 283-291.